

(財)札幌市環境事業公社 情報誌 第9号

アンパス

un pas

フランス語で「一歩」の造語。一歩一歩お客様との絆を深め、  
ともに環境への理解を深めるという意味を込めました。



『桜』 小出 匡 作

「アンパス」第9号の発刊です。

今回は、JR札幌駅の「列車ごみ等の分別・リサイクルの取り組み」の紹介、「ペットボトルのリサイクル施設」の紹介となっております。

本誌に対する皆様のご意見がございましたら、ぜひお寄せ下さい。

また、自社の紹介・PRなど、本誌に掲載希望の記事がございましたら何なりとご連絡下さい。

# お客様 紹介



JR 札幌駅  
駅長 小玉 宏文

JR 札幌駅は毎日約18万人の方が利用される道内最大の駅です。さらに札幌駅周辺は近年、JRタワーや大丸をはじめとする大型商業施設等が集積し、行き交う人々の数は、数十万人とも言われています。

JR 札幌駅では駅を発着す

このコーナーでは、ごみの分別リサイクルの推進に取り組んでいる、当公社のお客様を紹介させていただきます。  
今回はJR札幌駅長 小玉 宏文氏に、「JR札幌駅に集まる列車ごみ等の分別・リサイクルの取り組みについてお話を伺いました。」



JR 札幌駅

る列車のお客様をはじめ、札幌駅コンコース等をご利用されるお客様にご満足いただけるよう、日々努めておりますが、たくさんのお客様がご利用されるだけに、毎日、大量のごみを排出しています。

これらのごみを現状よりも環境に配慮した形で処理できないかということ、重要な課題のひとつでありました。

このような視点から「JR札幌駅に集まる列車ごみ等の分別・リサイクルの取り組み」をはじめておりますのでご紹介させていただきます。

JR札幌駅に集まるごみは主に特急列車をご利用される方と駅施設等に訪れるお客様が排出するごみに大別されます。

これらの内、札幌駅に設置されているごみ箱は「一般ごみ(燃えるごみ)・その他」、「缶・ビン・ペットボトル」、「新聞・

雑誌」に3分別されておりますが、実際には色々なごみが混入されているのが現状です。  
また、列車のごみ箱については、新しい列車では2分別されているものもありますが、スペースが限られているため、分別されていない形態のごみ箱が多い状況にあります。



列車(北斗星)から搬出されたごみ

札幌駅では列車が到着する度に、短い時間の中で清掃とごみの収集業務を行っており、これらのごみは、現在、JR

タワ一の商業施設であるパセオの再生資源室に集約されています。



ごみ分別の様子（パセオ西地下）

従来は分別スペースもなかったため、そのほとんどは、一般ごみとして(財)札幌市環境事業公社に処理をお願いしておりました。

しかし、近時の家庭ごみ有料化に伴う分別の推進等、焼却ごみを減らし、CO<sub>2</sub>削減やリサイクル率の向上を目指す取り組みを札幌市が進める

中で、札幌駅としても、ごみ減量化に取り組むべきと考え、清掃及び廃棄物処理を委託している北海道クリーン・システム(株)と連携し、平成20年度より、分別の取り組みを開始しました。

当初は「缶・ビン・ペットボトル」、「新聞・雑誌」から始め、平成22年8月からは、ごみの集積場がパセオへ移転したのを機に本格的な分別に取り組み、現在は「一般ごみ」、「缶・ビン・ペットボトル」、「新聞・雑誌」、「廃プラスチック・ビニール」、「雑がみ」に分別しております。

この取り組みにより、一般ごみは平成19年度を100として今年度は約55%まで減量できる見込みとなっており、ともにリサイクル率も向上する結果となりました。

今後もJR北海道グループの一員として、焼却ごみ減量の取り組みを進め、環境保全に微力ながら貢献してまいりたいと考えています。

最後に(財)札幌市環境事業公社のご担当の方々には、この取り組みを進めるにあたり、ご指導、ご協力をいただきありがとうございます。

この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

※ 文中の法人名については失礼ながら敬称を略させていただきます。



分別された「缶・ビン・ペットボトル」

## JR北海道 環境への取り組み

### 基本理念

JR北海道グループは環境保全に積極的に取り組み、地球にやさしい社会づくりに貢献します。

### 基本方針

- ・社員一人ひとりの環境保全に対する意識向上を図ります。
- ・資源とエネルギーの効率的な利用に努めます。
- ・環境保全に関する技術開発や創意工夫に努めます。
- ・環境に関連する法令等を順守します。

JR北海道「環境報告書」より抜粋

# ペットボトルのリサイクル施設



今回は、ペットボトルフレック化施設とペットボトルシート化施設をご紹介します。

札幌市では、地域内での「ゼロ・エミッション」<sup>(注)</sup>をめざした資源循環型社会の構築などを図るため、「エコタウン札幌計画」を策定し、平成10年9月に通商産業省及び厚生省の承認を受けました。

今回ご紹介する施設は、「エコタウン札幌計画」に基づき、札幌市リサイクル団地内に建設されたペットボトルのリサイクル施設です。

分別収集されたペットボトルを、隣接した事業主体の異なる2施設においてフレック化からシートの製品化までを一貫して行うところに大きな特色があります。

## 北海道ペットボトルリサイクル(株) (ペットボトルフレック化施設)



ペットボトルフレック

主に札幌市内の一般家庭、事業所から分別収集されたペットボトルから塩ビボトルや金属等の異物を除去し、破碎・洗浄・脱水して、再商品化しやすいように8mm以下のフレック状に加工する施設です。

この再生用ペットボトルフレックは、隣接するペットボトルシート化施設に送られシートに加工されます。

### 施設概要

施設名称：ペットボトルフレック化施設  
事業主体：北海道ペットボトルリサイクル(株)  
札幌市東区中沼町45-58(札幌市リサイクル団地内)  
Tel. (011)790-2345 Fax. (011)790-2346  
URL: <http://hprhp.com>  
施設規模：[竣工]平成11年6月  
[敷地面積] 6,959m<sup>2</sup>  
[処理能力] 12,600t/年  
[フレック生産能力] 10,000t/年

### ペットボトルの出し方

キャップとラベルをはずして、中身の入っていない状態で出しましょう!



## ポリテック(株)札幌工場

### (ペットボトルシート化施設)

ポリテック(株)札幌工場は、北海道ペットボトルリサイクルで製造した再生用ペットボトルフレックを加熱して、シート状に成形し、再商品化する施設です。



A-PETシート

具体的には、再生用ペットボトルフレックを主原料に、バージン原料を組み合わせ、透明・無味・無臭で耐薬品性、耐油性をもったA-PETシートを製造しています。

このA-PETシートは、包装資材・ケース等の成型加工メーカーに納入され、主に卵やフルーツ、雑貨のバックや商品陳列用トレイ、工業製品など、形を変えて再び私たちの手元に戻ってきます。

### 施設概要

施設名称：ペットボトルシート化施設  
事業主体：ポリテック(株)札幌工場  
札幌市東区中沼町45-54(札幌市リサイクル団地内)  
Tel. (011)790-2377 Fax. (011)790-2367  
URL: <http://www.ptc3325.jp>  
施設規模：[竣工]平成11年8月  
[敷地面積] 5,749m<sup>2</sup>  
[処理能力] 9,000t/年  
[シート生産能力] 9,000t/年

### 製品例



いかがでしたでしょうか。

皆さんが分別したペットボトルは、このようにリサイクルされ、再び生活の一部として役立っているのです。

〔(注)ゼロ・エミッション…産業活動から排出される廃棄物などをすべてを、産業の資源として活用することによって、全体として廃棄物を出さない生産のあり方〕

平成23年3月発行

編集・発行／財団法人札幌市環境事業公社  
札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル

<http://www.kankyousapporo.jp>

- 本誌に関するご意見、ご要望等  
電話 219-2053 FAX 219-0882
- 事業系一般廃棄物の収集全般に関すること  
電話 219-5353 FAX 219-0053



この情報誌は再生紙を使用しています。